

ショパン国際ピアノコンクール優勝者シリーズ第3弾

スタニスラフ・ブーニン

ピアノリサイタル

～プログラム～

ショパンChopin

ピアノソナタ 第3番 ロ短調 op.58

Piano Sonata No.3 B-Minor op.58

ドビュッシーDebussy

映像 第1集“Images”(First Book)

水に映る影“Reflect dans l'eau”

ラモーをたたえて“Hommage à Rameau”

運動“Mouvement”

ほか

2013. **12/8** (日)

16:00開演(15:30開場)

栃木県総合文化センター
メインホール

S席5,000円 A席4,000円

B席3,000円(学生1,500円)

7月24日(水)10:00発売開始

【プレイガイド】

○栃木県総合文化センタープレイガイド
(10:00～19:00)

電話予約 ☎028-643-1013

インターネット予約

<http://www.sobun-tochigi.jp>

○下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2階)

○宇都宮市文化会館プレイガイド

○FKDショッピングプラザ宇都宮3F

○FKDショッピングモール宇都宮インターパーク店2F

【主催】

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

～青少年の健全育成と県民文化の振興を目指します～

【お問い合わせ】

(公財)とちぎ未来づくり財団(栃木県総合文化センター)
〒320-8530 宇都宮市本町1-8

☎028-643-1010(文化振興課)

URL▶<http://www.sobun-tochigi.jp>

【お願い・お断り】

○都合によりプログラム等が変更となる場合があります

○就学前のお子様の入場はご遠慮ください

○会場には駐車場がございません。公共交通機関等をご利用ください

○開演後にお越しの際はロビーでお待ちいただく場合があります



スタニスラフ・ブーニン Stanislav Bunin

ソヴィエト・ピアノ学校の著名な設立者で、リヒテル、ギレリス等の巨匠を育てたG.ネイガウスを祖父とし、ポーランドの作曲家K.シマノフスキーの血筋を引くブーニンは、1966年モスクワに生まれた。

1983年、史上最年少の僅か17才でパリのロン＝ティボー国際コンクール優勝。続いて、1985年に第11回ショパンコンクールで優勝。併せてコンチェルト賞とポロネーズ賞を獲得した。これを機に東西ヨーロッパ及び日本で本格的な演奏活動を開始、「ブーニン現象」と呼ばれる社会現象を巻き起こす。

ブーニンの音楽的経歴の新たなステップは1988年ドイツへの移住とともに始まった。ザルツブルク音楽祭、ルツェルン国際音楽祭等、名高い国際フェスティバルに出演。またミラノ、ロンドン、パリ、ウィーンでのリサイタルも高く評価されている。1988年より東芝EMIと専属契約を結び、バッハ、モーツァルト、ショパン、ベートーヴェン他、これまでに10枚以上のCDを録音。これまでにNHK交響楽団との数回の協演、フランス国立管、ボストン響、ミュンヘン・フィル、ロンドン・フィル、ベルリン・フィル等、世界の主要オーケストラと協演。

ショパン没後150年にあたり、1999年よりイタリアを中心とするヨーロッパ各地及び日本で全8回におよぶ〈ショパンチクルス〉をスタート。ショパン・イヤーの中でもその意欲的な企画は注目を集めた。2001年11月には締めくくりとしてワルシャワ・フィルと協演、ショパンコンクールの「再現」を果たす。2005年、ショパンコンクール優勝より20年を迎え全国11ヶ所で「オール・ショパン・ピアノリサイタル」を開催。各公演満席の盛況を博した。2007年秋のツアーではリサイタルの他、仙台フィル、アンサンブル金沢とベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を熱演、このアンサンブル金沢

との協演は2008年6月にEMIミュージック・ジャパンより発売。2008年11月には日本デビュー20周年記念ツアーを全国で開催。2009年ワルシャワ国立フィルハーモニーとの日本公演もショパンのピアノ協奏曲第1番を協演、大成功に終わり、このライブ録音も2010年1月にEMIミュージック・ジャパンより発売された。

2010年1月にはジャズピアニストの山下洋輔プロデュース「IMPROVISINGブーニン！」に出演、山下氏とのピアノ・デュオ、初のジャズ演奏を披露、注目を集めた。また、生誕200年を迎えたショパンの誕生日3月1日にはショパンが愛したピアノ「ブレイエル」で演奏、TV、新聞、雑誌で大きく報道される。6、7月にはベルリン交響楽団との共演の他、生誕200年とブーニンのショパンコンクール優勝25周年を記念してチャリティ・ガラコンサートを開催。8月にはワルシャワで、アルゲリッチ、ダン・タイソン等も参加し、1ヶ月に亘って開催された「ショパンフェスティバル」の最終日にワルシャワ・フィルと「アンダンテスピナートと華麗なる大ポロネーズ」「ピアノ協奏曲第1番」を共演、そのトリを飾った。演奏後の拍手は鳴り止まず、満員の観衆を魅了した。秋には全国8ヶ所でオールショパンリサイタルを開催。大好評を博す。

2011年5月、読売日本交響楽団と共演。7月には中村絨子、山下洋輔両氏をゲストに迎え、サントリーホールにて、「スタニスラフ・ブーニン・チャリティー・ガラ・コンサート」を開催、収益金はすべてあしなが東日本大地震・津波遺児基金に寄附をした。2012年4月には、NHK「TOMORROW beyond 3.11」に出演し、被災地・仙台三桜高校音楽部と共演。多くの人々の共感を得た。2012年、「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会を支援するコンサート」開催。